

# 東大ゲー研 VS 京大ポケサー ～天下分け目の戦い～ リターンズ

文責：リイズ

## 〇はじめに

2014年11月に行われた駒場祭の3日目に、我が東京大学ゲーム研究会（東大ゲー研）と、京都大学ポケモンサークル（京大ポケサー）さんで、『ポケットモンスターXY』を用いた対抗戦を行いました。企画タイトルもズバリ、**東大ゲー研 VS 京大ポケサー ～天下分け目の戦い～ リターンズ**です。非常に長たらしい名前ですが(笑)、実は3年ほど前に**東大ゲー研 VS 京大ポケサー ～天下分け目の戦い～**と題した対抗戦を既に行っています。そこで、「再び対決の時がやってきた！」という意を込めてこのタイトルとなりました。

私個人は派手すぎるのかと思ったのですが、「学園祭なら派手に！」という京大ポケサーさんの意向もあって、このようになりました。今思えばこのタイトル名で正解だったと思っています(笑)。

対抗戦のルールですが、シングル2回、ダブル2回、トリプル、ローテーション、マルチの計7戦、それぞれのサークルの代表者が試合を行い、どちらがより多く勝ち星を上げられるか競います。各ルール、「フラットルール」「ハンデなし」の条件で対戦を行うものとし、マルチについてはペア同士での事前の構築相談、また対戦中の選出相談・立ち回り相談を認めます。

ルールの選定理由ですが、まずレーティングで行われているルールであるシングル・ダブル・トリプル・ローテーションは確定とし、人気ルールであるシングル・ダブルに関しては（時間的にも余裕があったので）2戦ずつ行うこととし、対戦数を奇数にすべく最後のルールとしてマルチを選びました。マルチに関しては、レーティングでは行われていませんが、普段の通信対戦で無理なく行える手軽さと、普段考察せず下地のないルールを学園祭に向けて東大ゲー研と京大ポケサーさんとで独自に研究して対戦を行ったら間違いなく面白いだろうという判断で採用しました。

代表者の選定については各サークルで自由という形をとりましたが、結果として両サークルともに、部内戦を勝ち上がったプレイヤーを代表者にすることになりました。

以下が部内戦を勝ち上がった代表者になります。

	ルール	東大側プレイヤー	京大側プレイヤー
第1戦	シングル	おつまんとるこ	EFTA
第2戦	ダブル	imt	次力
第3戦	トリプル	rigoon	Right
第4戦	ローテーション	たまごん	ひゅーず
第5戦	マルチ	rigoon&たまごん	ベテ&YT
第6戦	シングル	アングツ	おきよ
第7戦	ダブル	リイズ	ゆきみどり

対抗戦の様子につきましては、次ページ以降にすべての対戦の簡易解説を載せましたのでそちらをご覧ください。なお、使用構築詳細・対戦ログは、『ポケモン特集号第15号』に掲載しました。そちらも併せてご覧頂くと一層わかりやすいと思います。